



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

◎石叫◎ 「信者の献金」
 二〇一五年三月号『アシユラム』誌の「瞑想」欄に、榎本恵主幹牧師のコメントが載った。牧師には心の痛む内容であった。
 『あるとき、わたしの娘が、当時中学生でありましたが、しょんぼりして帰って来たことがあります。不信に思い、「どうしたの」と家内がたずねると、「牧師って、信者の献金で食べてるのねえ、それ、ほんと？ 教えて」と言って、わあ、泣いたことがあります。学校でだれからか、お前とこのおやじは信者の献金をもろて食べてるんや。まあ言うたら信者のお恵みで食ってるちゅうわけや。乞食みたいなもんやなあ。そしたら、お前は乞食の子や、偉そうにするな、となじられたらしい。』（榎本保郎著『教会づくり入門』より）
 もちろん今では、そんなことを言う人はいないとは思いますが、私も小中学生の頃、なんだか父親の職業が牧師であると言いにくくて、よく『お父ちゃんは幼稚園の園長や』と答えていたことを思い出す。牧師の子どもたちには、多かれ少なかれ、こんな経験を、トラウマのように持っているのかも知れない。
 パウロは、『わたしは福音を恥としない。信じるものすべてに救いをもたらす神の力だからです』（ローマー・16）と言言するが、彼は福音を誇るとは言わず、恥としないと言う。だから、よけいにこの福音は重く響いてくる。救いをもたらす神の力、それは、何ものをも憚ることのないはずなのに
 僕の神学生の頃、右記と同じような事を母が言った。「幸、お前、人のお布施で生きるんじゃないよ」と。一番信頼している母にして、そう考えていたのかと思うと、少なからず動揺したことを覚えている。確かに「人のお布施で生活する」という考えであれば、恐らく誰も牧師になる人はいないであろう。生きるために牧師という職業を選んだのではなく、神に召されたという確信によって牧師になるからである。
 パウロは、「福音を宣べ伝えている者たちが福音によって生活すべきことを、定められた」（1コリント9・15）と言う。それぞれを牧師に召し、それによって生活するように命じているのは他ならぬ神ご自身である。この確信のゆえに牧師は牧師としての働きを続けてゆける。だから、牧師はいつもこの神よりの召命を牧会の原点に据えていなければ、容易に人の言葉に左右されて動揺し、自分を卑下し、自分の道を見失いがちになる。頼るはただ神よりの召命という確信だけである。（二〇一五年五月十七日）

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

